

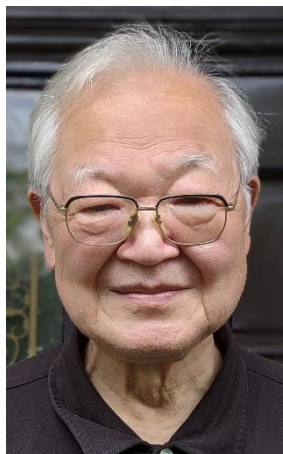


# たもんじ 交流農園

2021年9月号



便利 Vol.42



## てらたま協議会の新しい門出

シリーズ:理事長  
(会副)を退任して

### ～牛久新体制に期待～ 顧問 高木新太郎

スカイツリーは2006年に建設が決定した。墨田区の旧向島区と旧本所区の境辺りに建設のスカイツリーを見越して、北部の複数商店街を軸に地元有志が集まったのがまちおこしの出発であった。

当初は区役所の音頭の下、玉の井町会会館で毎月会合を重ねた。永井荷風、梅若伝説、七福神…まちおこしの牽引力としてこの街に由来する様々なテーマが熱く語り合われた。「寺島なす」は当初より掲げられた起爆剤の一つで、その復活、とりわけこの地域での栽培は悲願であったと言っても過言ではない。

「旧向中に農園を作ろう!」は遠い夢のスローガンであったが、たもんじに場所を変えたとはいえ、まさか実現するとは、当時誰が思っていたであろうか。

スカイツリーは2012年に完成したが、商店街の変遷もあって、まちおこし協議会は、まちづくり協議会に名前を変え、現在のNPO法人に改編して3年になる。

私は当初から関わらせて頂いたが、長くなり歳をとった。ここで皆さんに夢の実現を委ねたい。

5月の総会で、てらたま協議会に5人の副理事長が誕生した。末林さん、小川さん、田村さん、中西さん、石田さんの5人だ。牛久新理事長のもと、皆さんの柔軟な発想力、行動力、突破力で、新たなまちづくりの発展を期待してやみません。よろしくお願いします。

## 第16回 今、ハマっています! 末林和之さんの場合



元々ゴミ拾い活動が気になってはいたのですが、たまたま荒川をジョギングしていた時に見かけた団体に、きっかけがあって申込みし、3ヶ月で3回も参加してしまいました。これが何と外人ボランティア団体で、何とも国際色豊かな体験です(でもほとんど日本語でしか会話していません、異国の地で無償でゴミ拾いをする彼らに頭が下がります)。

荒川の中州にあるテトラポッドは荒川のフィルターになっているようで、ピン・管・ペットボトル・発泡スチロール・金属・機械・ボール・袋・ロープなどなどあらゆるゴミが引っかかっています。ここで無数の舟ムシと沢ガニに囲まれ、黙々と、自分のペースで、ゴミ集めをするはまるで修行。成果としては、①ゴミの分別について認識を新たにできた、②荒川のゴミの酷さ・実態について痛感できた、③ゴミ拾いにこんな関心がある人がいるんだということに気付いた、④こんなもの絶対触れないって最初思っていたものを平気で掴めるようになった、⑤異常なまでに使命感と達成感を感じることができた、⑥ただこれも明日になれば元通りなんだろうなという絶望感も同時に感じることもできた、⑦彼らの間で交わされる英語をほとんど理解できず、国際会議等で孤立する日本人の孤独をひしひしと感ずることができた、等。



ところで実は先月もう一つハマってしまったものがあり、とあるアイドルグループの会員番号を得るに至ったのですが、そのグループのファンのことも清掃員と呼ぶのだそうで…

米、英、多分インド、ベトナム、多分中国か台湾、勿論皆さん日本語堪能

「江戸に浸かる。」に浸かり直す!

# 寺島なすは手から手へ～横かしのサンバちんどん～

## すみだサンビスタ有志 青山杏里 From New Zealand

こんなことでもなければ、こんなユニークな経験は人生でできなかったことでしょう。過去4回の「江戸に浸かる。」では、企画の末林さんのリクエストというか無茶振りに当初は圧倒され気味でしたが、私も負けてはいません、心温かいサンバ仲間に毎度無茶難題を聞いてもらい、かつてないパフォーマンスを実現することができたと思います。

先ず初回2017年は、小江戸開きで、口上に合わせて賑やかしをまず三回、続いて寺島なすで区内各所を結ぶ「青果リレー」では、横浜飯店さんで待ち合わせの上、なすと宣伝をぶら下げて東向島駅前商店街を練り歩き、



2017(写真:黒澤孝之)



2017(写真:馬杉さん)



2019(写真:黒澤孝之)



2021 NZにて(写真:マーチン)

会場、八百屋さんでお野菜を分けていただいたり、デイケアの皆さんをサプライズ訪問したり…皆さんとの交流を楽しみました。ハイライトの大江戸開きはなぜかミュージカル仕立てで、それもトラブルで急遽アカペラとなり…紆余曲折あるも「江戸に浸かる。」は無事開かれて、老若男女が江戸にちなんだ文化や食をたっぷり楽しんだのでした。

以来、貴重な機会を毎年いただき、皆さんと特別な思い出を創り重ねてきました。2018年は生憎の雨でしたが、傘を使ってのちんどんとサンバで盆踊りに挑戦。2019年にはニュージーランドのダンサーヒラリーもゲスト参加。2020年はコロナ下、オンライン青果リレーにニュージーランドから参加させていただきました。そして今年2021年は、文章で…



2018(写真:黒澤孝之)



2019(写真:黒澤孝之)

何かと制約のある生活が続きますが、てらたま協議会の皆さんが紡ぐ温かな地元の輪が、じっくりじんわり続いていくことを願っています。どうぞ皆さんお元気で、来年またご一緒できるのを、心待ちにしています^^

## “てらたま農園部から”

### 第2回 ～鍛冶屋さんがやってきた～坂本さん&矢下さん



皆さんが普段使用している農機具ですが、刃が上手く切れなかったことはありませんか？ 8月29日、坂本さんが研磨機を持ってきてくださり、矢下さんも一緒に鍬やハサミなど農機具を丁寧に研ぎ、メンテナンスを行っていただきました。

皆さんが共同で使っている道具なので、刃のキレもどんどん悪くなります。備中鍬(4本刃の鍬)は、無理矢理使うと刃が曲がってしまうこともあります。私は、坂本さんと矢下さんがやってくださるのを真近で見て、「農業は道具が命」であり、道具を適切な状態で使えることで、作業の効率も上がってくると農家さんが話していたのを思い出しました。

皆さんと一緒に使っている道具ですので、次の人が気持ちよく使えるよう、大切に扱っていただきますようお願いいたします。



水口アドバイザー:10/10(日)11/21(日)各10:00～ 農園部:9/26(日)10/3(日)10(日)17(日)各9:00～



たもんじ交流農園便り  
No.42-般 2021.9.19 発行  
題字 田村風來門  
編集 末林和之



HomePage

てらたま協議会  
(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)  
問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)

▲セブン-イレブン 記念財団



Facebook